

# 文教委員会資料

(令和5年6月23日)

## 【報告事項】

事項名	所管部課名	資料番号
1 保育所等における第2子保育料の無償化の実施について	子ども家庭部幼児保育課	資料第1号 (議案第6号)
2 文京区立小日向台町小学校等改築整備方針について	教育推進部学務課	資料第2号
3 令和6年度使用小学校教科用図書採択について	〃 教育指導課	資料第3号
4 令和3年度 体罰等実態把握調査について	〃	資料第4号
5 令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について	教育センター	資料第5号

( ) は関連する議案

# 文教委員会定例資料

## 【 子ども家庭部所管 】

- 1 文京区立さしがや保育園アスベスト健康対策の実施状況・・・幼児保育課
- 2 令和4年度子ども家庭支援センター実施状況・・・・・・・・子ども家庭支援センター

## 【 教育推進部所管 】

- 3 令和4年度児童館利用状況・・・・・・・・児童青少年課
- 4 令和4年度教育センター利用状況・・・・・・・・教育センター
- 5 令和4年度教育センター科学教育事業実施状況・・・・・・・・教育センター
- 6 令和4年度スクールカウンセラー相談活動実施状況・・・・・・・・教育センター
- 7 令和4年度スクールソーシャルワーカー活動実施状況・・・・・・・・教育センター
- 8 令和4年度区立図書館行事実施状況・・・・・・・・真砂中央図書館
- 9 令和4年度区立図書館利用状況等・・・・・・・・真砂中央図書館

## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月12日

自民党 市村 やすとし議員

### 1 少子化対策について

- ⑤ 「学校給食費無償化に向けて、給食実施率や保護者負担軽減策等の実態を把握しつつ、課題の整理を行う」の項目に掲げた経済的支援策について、本区が取り組んできた実績や今後の計画、課題等があれば伺う。

(答弁)

これまで、就学援助世帯等の給食費を無償としており、経済的な負担の軽減を図ってまいりましたが、現在、区立小中学校に在籍する児童・生徒全員を対象に、2学期から無償化が実施できるよう準備を進めているところです。

具体的な実施方法等の検討が今後の課題となりますが、無償化後においても、これまでと変わらず質の高い給食を提供してまいります。

### 5 育成室の待機児童対策について

- ① 令和5年4月1日現在の育成室の待機児童数は昨年度の37人から97人に急増したとのことだが、これまでにないこの数値を区はどのように捉えているか、見解を伺う。
- ② 一定規模の広さが求められる育成室の整備が進まないという都心区ならではの現状もある程度理解はしているが、この状況においてどのような考え方のもと、整備を進めていくか、伺う。今後の育成室の具体的な整備状況も、併せて伺う。
- ③ 通常の預かりが19時まで、延長保育も21時まで行っている都型学童クラブが区内には7か所あるが、入室状況を伺う。
- ④ 都型学童クラブの更なる誘致を引き続き行うことを求め、伺う。

(答弁)

令和4年度は、新たな育成室を3室整備するなど、保育サービスを拡充してきたところですが、就学児童数の大幅な増加等に伴い、待機児童数も増加したものと認識しております。

このような状況を踏まえ、これまで実施してきた、公共施設の改築に合わせた整備や民間活力を活用した整備に加え、これまでにない新たな手法についても検討し、緊急対策としてとりまとめてまいります。

今後の育成室の整備については、誠之小学校に2室開設するほか、旧元町小学校に1室、明化小学校に1室、柳町小学校に、既存の3室に加え、新たに1室を開設する予定となっております。

また、都型学童クラブの入室状況については、区内7施設において、合計定員

564人に対して473人の受入れを行っております。今後も必要性の高い地域を中心に、都型学童クラブを積極的に誘致してまいります。

6 区立中学校への資格取得補助の拡充について

- ① 教育のスタンダードとしてIT関連部門の学習は必須と考えるが、児童・生徒のグローバル化する社会に対応する力を育成するため、こちらの補助も検討することを伺う。
- ② 多様化社会の中で個々の力が発揮できる一助となるよう、漢字、数学、IT系等の、資格取得補助の拡充について検討いただきたく、意見を伺う。

(答弁)

現在、英語の学習意欲及び学力の向上に向けて、「英語力向上推進事業」の一環として、実用英語技能検定の受験料を年1回補助しています。

ご提案の数学・漢字検定、IT系等の資格取得の補助につきましては、今後の課題として研究してまいります。

## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月12日

共産党 金子 てるよし議員

### 2 特別教室の改修について

- ① 地域経済振興の観点から、少なくとも施工については設計と分離して発注するよう求め、伺う。
- ② 設計・施工一括発注は、デメリットも指摘されており、一括発注するのは17校の発注管理業務や設計・工事監理にとどめるべきだが、考えを伺う
- ③ 地域経済支援のためにも、従来の分離方式で行うよう強く求め、伺う。

(答弁)

現在、特別教室の改修に向け、「標準仕様」の作成、他の工事との時期の調整など、計画作成を進めており、これと並行して、ヒアリングシートを活用したサウンディング調査を行っているところです。

この調査では、発注方法を検討する際の参考とするために、区内を含めた多くの事業者に対して、事業への参加意思を打診しております。また、民間事業者がもつノウハウやアイデアを本事業に活かすため、参加可能な事業方式や、必要となる施工条件などについて、区で想定している条件にとらわれることなく、広く意見をいただいているところです。

設計、施工、工事監理などの発注方法については、これらの調査結果を踏まえ、区内事業者を含む事業者が応じられるよう、具体的に検討してまいります。

### 4 脱炭素社会の実現について

- ④ア 学校の改築・改修では「ZEB化」を率先して行うべきだが、考えを伺う。

(答弁)

学校の改築時には、屋根や外壁の高断熱化、高効率設備の導入等によって、ZEB基準を踏まえた省エネルギー性能の確保に努めるとともに、再生可能エネルギーの導入に取り組んでまいります。

また、学校の改修時には、蛍光灯のLED化や、高効率空調機への交換、体育館の屋根への遮熱効果の高い塗装などを実施し、環境への配慮を行っているところです。

今後も引き続き、学校施設整備指針を参考に、適切に対応してまいります。

### 8 育成室の整備と保育の質の確保について

- ① 4月当初の学年別の待機児数と待機児から除外された近隣育成室への紹介、退室、

申請取り下げの各人数をそれぞれ伺う。

- ② 全 45 室の内、定員が 40 人以下の 3 室を除き、定員を 5 人刻みで分類した時の育成室数と全育成室数に対する率を伺う。
- ③ 申込があったら全員入室できることが待機解消との定義を明らかにして、待機解消に向けた方策とあわせて伺う。
- ④ 同時に放課後の豊かな育ちを保障するため、定員を 40 人にして今後の整備を急いで進めるべきだが、考えを伺う。

(答弁)

本年 4 月当初の待機児童数は、1 年生 82 人、2 年生 13 人、3 年生 2 人となっております。近隣育成室への紹介による入室は、148 人、退室は 11 人、申請取り下げは 28 人です。

また、定員を 5 人刻みで分類した育成室の数及び、その割合は、定員 41 から 45 人までは 9 室 20%、定員 46 から 50 人までは 18 室 40%、定員 51 から 55 人までは 14 室 31.1%、定員 56 から 60 人までは 1 室 2.2%となっております。

育成室を希望する全ての児童が入室し、適正な規模での運営となるよう、これまで実施してきた整備手法に加え、これまでにない新たな手法についても検討し、緊急対策としてとりまとめてまいります。

#### 14 シビックセンター改修工事について

- ⑥ア 本駒込図書館のバリアフリー改修に向け、直ちに設計作業に着手するよう求め、伺う。

(答弁)

本駒込図書館は、2 階に位置する入口へのアプローチが階段となっており、専用のエレベーターもないことから、バリアフリー化は課題と認識しております。

当該建物は、都営住宅等との複合施設であり、直ちに改修することは困難ですが、車椅子利用者等、配慮が必要な利用者には、勤労福祉会館のエレベーターを案内するなど丁寧に対応してまいります。

# 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月12日

AGORA 上田 ゆきこ議員

## 1 給食について

- ① 文京区立学校の給食においても、輸送にかかるCO2削減などSDGsの観点も踏まえ、パンや麺の原料を国産小麦にしてはと考えるが、伺う。
- ② 東京都が推進する「米粉パンを食べよう!TOKYOJAPANキャンペーン」についての考えを伺う。
- ③ 今後の食を通じた教育活動の充実について、抱負を伺う。

(答弁)

給食では、主食として米飯を中心に献立を作成しており、パンは週1回、麺は2週間に1回程度の頻度で提供しております。

国内産小麦粉パンは、価格の面から、日常的に提供することは難しいのが現状ですが、うどんについては、国内産小麦粉を使用したものを全校で提供しております。

米粉パンについては、今年度、ご指摘のキャンペーンの一環として、都が補助事業を実施する予定であり、区教育委員会では補助事業を活用し、全校で米粉パンを提供する計画を進めております。

今後も、学校給食を通じて、小麦自給率向上や、国産食材の使用について、子どもたちが学びを深められるよう努めてまいります。

## 2 教育について

- ② 区立学校の地域開放について、特に、文京総合体育館や文京スポーツセンターから地域的に離れている千駄木小学校・文林中学校・千駄木幼稚園については、プールなどのスポーツ施設やその他特別教室の地域開放が求められると思うが、多様な地域住民の声を聞きながら、地域ニーズを反映した施設整備を行っていく工夫について、伺う。

(答弁)

学校の改築にあたっては、学校運営に支障が生じないことを基本としたうえで、地域開放に配慮した施設配置や、将来の社会情勢の変化等にも対応できる工夫を行ってまいります。

また、現在進めている千駄木小学校等改築基本構想検討委員会では、日頃より様々な立場から学校運営に係わっている地域の方々等から広くご意見をいただき、丁寧に議論を進めているところです。

検討委員会では、地域開放を踏まえた施設整備の視点についても、委員の皆様にご説明したうえで、地域ニーズを反映した施設整備に向け、議論を深めてまいります。

す。

なお、現在行っている地域開放については、学校運営に支障のない範囲で利用いただけるよう、引き続き学校と調整してまいります。

- ③ 育成室について、今年度はどの育成室もほぼ満員か待機の状態、どの地域も全体的な整備が求められるが、この待機児童の状況を受けて、整備方針を改めて伺う。

(答弁)

今後の育成室の整備については、誠之小学校に2室開設するほか、旧元町小学校に1室、明化小学校に1室、柳町小学校に、既存の3室に加え、新たに1室を開設する予定となっております。

しかしながら、育成室待機児童の解消は、これまで以上に喫緊の課題であると認識していることから、これまで実施してきた、公共施設の改築に合わせた整備や民間活力を活用した整備に加え、これまでになかった新たな手法についても検討し、緊急対策としてとりまとめてまいります。

- ④ 全児童対策事業のさらなる充実も求められており、障がいの有無にかかわらず全ての児童を対象とした全児童を前提とした施設整備が必要と考えますが、方向性について伺う。

(答弁)

ご指摘のとおり、本事業は障害の有無に関わらず、全ての児童が安全・安心に過ごせる居場所であり、教育委員会としても、その認識のもと、事業を実施してまいりました。

今後、全ての児童にとって、安全・安心な居場所となるよう、各校の運営委員会等とともに、更なる環境整備に努めてまいります。

- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちを取り巻く環境は過酷となり、特に体験機会の減少が子どもたちの育ちに与えた影響は大きいと考える。様々な校外学習等の機会を復活させ、この3年間を取り戻すことが必要と考えるが、方針を伺う。

(答弁)

校外学習をはじめとする体験学習については、具体的な活動や体験を通して、社会や自然との関わりを学び、日常とは異なる環境や集団生活を経験できる重要な学習と捉えております。

今年度は、児童一人一人が自然に親しみ、自然に対する興味・関心を高めるための動物と触れ合う体験や、文京区の歴史ある神社等の地域巡りなど、校外に出て充実した活動を実施してまいります。

また、文化的・体育的連合行事も実施し、他校との交流を通して、集団への帰属意識や連帯感をより深められるようにいたします。



宿泊行事においては、日常とは異なる生活環境で見聞を広げ、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなど、集団生活の在り方や公衆道徳等について、体験を積む機会としてまいります。

子どもたちが相互に交流し、自然や文化などに親しみ、楽しい思い出づくりと豊かな学びが実現できるよう、活動の充実に努めてまいります。

- ⑦ア 学びの居場所架け橋計画について、子どもの個性に合わせた学び方支援の進捗と効果を伺う。
- ⑦イ 全校実施に向けた検討を進めていただきたいが、いかがか。
- ⑦ウ 利用する子どもたち自身からの要望もあるかと思うので、夏休みなどを活用して、さらに施設面などの充実に取り組んでいただきたいが、いかがか。
- ⑦エ この居場所を利用した区のギフテッド教育の今後の方向性を伺う。

(答弁)

指導員を7名採用し、研修を行った後、4月中旬から各モデル校に配置しました。5月末現在、モデル校全体で合計48名の児童生徒が利用しております。NPOと連携したオンラインシステムによる支援につきましては、5月中旬から利用できるように環境を整備し、5月末現在、1名が利用しております。

効果としては、利用者が安定して登校し、学校とのつながりを維持できるようになったことがあげられます。

また、全校実施については、本年度、モデル校の取り組みを着実に進行中で、必要に応じ随時拡大してまいります。利用している児童、生徒、指導員などの意見も踏まえながら、施設面の拡充についても検討してまいります。

校内における居場所については、全ての児童生徒が自分に合ったペースで学ぶことが可能な環境と考えております。いわゆる「ギフテッド」と言われる児童生徒も含め、一人ひとりに合った学びの場となるよう、実践を重ねてまいります。

- ⑧ 教育用タブレット端末のさらなる活用について、年度、リース期間の5年間を切り上げて、再調達を行うとのことだが、新たな調達に向けた現端末の課題を分析、学校現場から要望が上がっている機能など、想定される仕様について、伺う。

(答弁)

GIGAスクール構想以前から、順次端末の整備を拡大してきたことにより、複数種類の端末が混在しているため、機能面を含め整理が必要と考えております。それらを整理し、更新期間をそろえるため、今年度のリース契約は、5年に満たない期間の契約とする予定です。

端末の更新にあたっては、学校やPTAからの要望を踏まえ、従来の課題であった駆動時間や端末の重さ、データ処理能力などの機能が改善された端末を整備し、教育活動の向上に努めてまいります。

### 3 こどもを取り巻く新たな政策の方針について

- ① コミュニティスクールにおいては学びや学校運営などに子どもが主体的に参画する仕組みを確立すべきと考えるが、いかがか。

(答弁)

こども基本法等では、子どもは、自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、大人はその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮することが必要とされており、

子どもたちは、児童会活動や生徒会活動などの特別活動を通して、自分の意見を表明し、よりよい学校生活をつくろうとしております。

また、生徒会役員が、いわゆるコミュニティスクール、学校運営協議会に参加し、意見を表明している学校もあります。その学校では、生徒が学校生活で気になっていることを学校運営協議会の委員に報告し、学校と地域が協力して、学校生活における課題を解決しております。

今後とも、こども基本法の趣旨を踏まえ、子どもの意見を取り入れた学校運営となるよう、努めてまいります。

## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月13日  
公明党 岡崎 義顕議員

### 4 「小1の壁」打破について

#### ③ 本区としての「小1の壁」打破の取り組みについて伺う。

(答弁)

小学校入学時に生じる「小1の壁」として、仕事と子育ての両立が難しくなることが言われており、その解消は、重要な課題と認識しております。

そのため、これまで、放課後の居場所対策として、児童館や育成室、放課後全児童向け事業のほか、都型学童クラブへの運営補助など、様々なニーズに対応した事業を展開してまいりました。

とりわけ、育成室の待機児童解消は、喫緊の課題と認識しており、これまで実施してきた、公共施設の改築に合わせた整備や民間活力を活用した整備に加え、これまでにない新たな手法についても検討し、緊急対策としてとりまとめてまいります。

また、育成室では対応できない延長保育等のニーズに対し、都型学童クラブの誘致を進めているところであり、今後も、必要性の高い地域を中心に、積極的に誘致し、「小1の壁」の解消に取り組んでまいります。

### 6 学校給食の無償化について

#### ① 学校給食の無償化を9月開始にむけて準備を進めるとあるが、今後、どのようなスケジュールで実施していくのか伺う。

#### ② 学校によって給食費の差もあるかと思うが、無償化によって給食のレベルが落ちないように望む。どのような制度設計を考えているのか伺う。

(答弁)

現在、区立小中学校に在籍する児童・生徒全員を対象に、2学期から無償化が実施できるよう準備を進めているところです。

具体的な実施方法等は検討中ですが、無償化後においても、これまでと変わらず質の高い給食を提供してまいります。

### 15 教育について

#### ① 今年度は「学びの居場所架け橋計画」として、モデル校を4校から7校に拡大されたが、まずはこの取り組みを円滑に実施して頂き、児童生徒への支援の強化・学びの継続につなげて頂きたいと思うが、現在の実施状況を伺う。

#### ② 「不登校保護者の集い」を開催し、そのつどいの場に講師を呼んで進路相談も実施する取り組みを、本区として検討して頂きたいと思うが見解を伺う。

- ③ 本区でも「不登校の子ども理解・支援ハンドブック」を作成していくことも必要と考えるが見解を伺う。

(答弁)

まず、「学びの居場所架け橋計画」の実施状況についてのお尋ねですが、指導員を7名採用し、研修を行った後、4月中旬から各モデル校に配置しました。5月末現在、モデル校全体で合計48名の児童生徒が利用しております。また、NPOと連携したオンラインシステムによる支援については、5月中旬から利用できるような環境を整備し、5月末現在、1名が利用しています。

次に、保護者支援の取り組みについてのお尋ねですが、教育センターのふれあい教室では、保護者会を開催し、不登校経験者の体験談を聞く機会等を設けております。総合相談室では、保護者同士が不登校に関する悩みを話し合う場所を提供するため、昨年度新たに保護者の集いを開催しました。

また、進路相談については、在籍校を中心に、関係機関と情報を共有しながら、丁寧に行っております。フリースクールやふれあい教室等に通っている生徒については、施設の担当者からの情報を踏まえ、当該の生徒及び保護者との進路相談を行っております。

今後、こうした取り組みの状況や他自治体の取組も踏まえ、ご指摘のような不登校の保護者支援についても検討してまいります。

次に、不登校支援のハンドブックについてのお尋ねですが、都教育委員会から、不登校の子どもたちへの支援のポイントをわかりやすく示した、保護者向けの冊子が発行されており、この冊子をホームページでご案内しているため、区独自のハンドブックの作成は検討しておりませんが、引き続き、都のハンドブックが有効に活用されるよう、周知に努めてまいります。

# 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月13日  
永久の会 高山 泰三議員

## 1 地域コミュニティの復活について

- ②イ 区民に対して積極的に脱マスクを推奨する必要があるように感じるが、教育長の見解を伺う。
- ④ 人前でマスクを外すことを嫌がる子どもに対しては教育委員会として心のケアに取り組むべきと考えるがいかがか。

(答弁)

現在、区立幼稚園及び小・中学校では、国や都の通知に基づき、子どもたちや教職員にマスクの着用を求めないことを基本としております。しかしながら、議員ご指摘のとおり、様々な理由によりマスクを着用している子どもや教職員が一定数いることは認識しております。

子どもたちには、周りに合わせてマスクを着脱するのではなく、主体的に考え、行動できる思考力や判断力を身に付けてほしいと考えております。

そのため、幼稚園・小・中学校の管理職に対しては、思考力や判断力を身に付けられるよう子どもたちを導くとともに、子どもたちがマスクを外しやすい環境を整えるよう指示しております。

また、子どもたちの心のケア等につきましては、学級担任をはじめ、養護教諭、スクールカウンセラーなどが連携しながら、丁寧に対応してまいります。

## 2 子育て支援策の所得制限の撤廃について

- ①イ 区立小中学校の給食無償化について、本区における具体的な実施の時期、方法などについて伺う。

(答弁)

現在、区立小中学校に在籍する児童・生徒全員を対象に、2学期から無償化が実施できるよう準備を進めているところです。具体的な実施方法等は検討中ですが、無償化後においても、これまでと変わらず質の高い給食を提供してまいります。

- ② 所得制限なしの塾代の補助を改めてご検討いただきたく思うが、小学校高学年から中学卒業まで全ての子どもに月8,000円、年間96,000円の塾代補助を行ってはいかがか。

(答弁)

本事業は、昨年度策定された「子どもの貧困対策計画」の計画事業として、生活に困窮する世帯における保護者の経済的負担の軽減を図ること及び、生徒の学力や

学習意欲の向上に寄与することを目的に実施しております。

そのため、現時点では、所得制限なしの助成は考えておりませんが、今後も利用者アンケートの結果等を参考に、より効果的な事業になるよう工夫してまいります。

### 3 人への投資について

- ①イ 教育において、事業所の DX 推進のための投資や職場における環境改善の取り組みへの補助や、採用支援、国の定めている最低限の人員配置よりも人を加配した場合には人件費を一部区が負担するなども検討できると考えるが、区の考える具体的な方策を伺う。

(答弁)

これまで教務、保健、学籍等の管理を行う統合型の校務支援システムや中学校におけるデジタル採点システムの導入などを進めてまいりました。

また、教職員向け勤怠管理システムに関する学校からの問い合わせに直接対応するヘルプデスクを設置するとともに、ICT支援員を小中学校全校に配置することで、教職員の業務の効率化を図り、労働時間の短縮に努めております。今後も、DX推進などにより、教職員の職場環境の改善に取り組んでまいります。

## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月13日  
維新文京 宮崎 こうき議員

### 1 教科書採択について

- ① 教科書の選定基準は指導要領方針にどれだけ適しているか、現在の教科書採択権が教育委員会にあることを教育委員会自身が正しく認識しているのか、どのような基準で採択の公正を確保しているのか、教科書採択の際にどの部分を重点的に注目し採択するのか伺う。

(答弁)

教科書採択に当たっては、区の教育目標の実現に向け、学習指導要領等の関連する法令、通知等に基づき、使いやすさ、文字等の見やすさ、量の適正等に留意してまいります。

5月の定例教育委員会では、各教育委員が採択の方針を確認しております。また、留意点や採択全体の流れ等を十分に理解していただき、それぞれの見識の下、採択されるものと認識しております。

なお、前回の採択と異なる点として、英語のデジタル教科書を調査し、考慮の一事項とすることが可能となったことがあげられます。学習者用デジタル教科書の開発が進み、機能が充実しつつあることから、このことも審議の対象となるものと考えております。

6月5日から7月1日まで、教科書の展示会を実施しており、区民をはじめ、多くの方々からもご意見をいただきながら、教科書採択を公正かつ適正に進めてまいります。

### 4 学校施設の安全性について

- ① 杉並区の区立小学校の事故を踏まえ、文京区において点検の実施状況はどうなっているのか伺う。

(答弁)

これまでも各学校において日常的に校庭の安全点検を行っているところですが、今般の報道を受け、改めて全校で目視での点検を行い、児童・生徒のケガに繋がる危険物がないことを確認しております。

また、土の校庭は、小学校で1校、中学校では4校あり、児童・生徒の転倒や水たまりの原因となる個所の整地、小石・雑草の除去などの保守整備を毎年行っております。これに加えて、夏季休業期間を目途に、金属探知機を使用し、地中の危険物調査を行う予定です。

校庭を含めた学校施設等につきましては、引き続き、建築基準法等の法令や関係

省庁の通達に則り、適切に維持・管理してまいります。



## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月15日

ぶんきょう子育て たかはま なおき議員

### 1 民間学童クラブへの補助拡大について

- ① 働き方の多様化に対応し、民間学童に通っている生活困窮家庭やひとり親家庭にも補助を拡大することは育成室の保育時間延長の手段としても、待機児童解消の一つの手段としても一定の解決策になると思うがいかがか、伺う。

(答弁)

待機児童の解消に向け、これまで実施してきた手法に加え、これまでにない新たな手法についても検討し、緊急対策としてとりまとめる中で、ご提案の内容についても検討してまいります。

### 5 給食費無償化について

- ④ 給食費無償化を進めるに当たり、これまでの答弁で「優先する」としてきた施設整備は後回しになるのか、どちらも行うべきと考えるがいかがか、伺う。

(答弁)

給食の無償化を実施するか否かに関わらず、現在進めている改築や老朽化した施設の改修・修繕等、学校施設の整備につきましては、「文の京」総合戦略に基づき、計画的に進めてまいります。

### 6 教育環境と子どもの居場所

- ① 区立中学の魅力向上について、これまでどのような努力を行い、今後、どのような努力を重ねていくのか、具体的な取り組みを伺う。

(答弁)

これまで、区立中学校の魅力を広く伝えるため、オープンキャンパスの実施や、各校の特色を掲載した学校案内誌の作成、CATVでの番組制作、広報誌きあらでの特集掲載等、児童・保護者へのPRに取り組んでまいりました。

また、区立中学校では、区内の大学等との連携により、校内で生徒の学習を支援する「学習指導補助員」の配置や、「文京区科学事業」の実施等、地域の教育資源を生かした教育活動を行ってまいりました。

さらに、学力の向上を図るため、個に応じた学習指導の充実を目指し、教育内容に創意工夫を加え、特色ある学校づくりに各校が取り組んでいるところです。

文林中学校では、魅力ある学校づくりとして、将来世界で活躍できる「グローバル人材」育成を教育活動の柱とし、「生きた英語」に触れ、実践的な英語力を身につける英語教育の取り組みを行っております。なお、ホームページの記載は平成2

7年から始まり、現在も同様の内容で継続している当該事業を記載しているものです。

今後も、各校において教育内容を充実させるとともに、児童が区立中学校の良さを理解し、進学者の増加につながるよう、より多くの媒体を通じて、区立中学校の魅力を発信してまいります。

- ② すべての子どもたちが想いを持って選べる中学校となるためには、施設の改修や学習を支援するスタッフの十分な配置を後回しにせず、積極的な予算措置が必要だと考えるがいかがか、伺う。

(答弁)

生徒の科学に対する興味・関心を高め、理科における学力の向上を図るため、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所による講義及び実験を、全区立中学校で実施しております。

また、タブレット端末やICT機器等を活用した、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルを確立するため、ICT支援員の配置を拡充したほか、グローバル人材育成のため、外国人英語指導員の長時間配置校を増やしています。加えて、学校ごとにゲストティチャーを招き、特色ある教育活動を進めております。

今後も、十分な学習環境と学習資源の確保に努め、区立中学校の特色につなげてまいります。

- ③ 区立中に通う意欲の高い生徒が一層伸びるよう、区として学習を支援することも『文の京』としてぜひ取り組んでいただきたいと願うがいかがか、伺う。

(答弁)

区立中学校では、放課後等の時間を利用して、近隣大学の学生の協力のもと、定期テストや検定試験の対策、受験勉強の支援等を行っており、多くの生徒に利用され、生徒の学習意欲に応じた取り組みとなっております。

また、生徒の学力及び学習意欲の向上に寄与することを目的とし、中学生に対する学習支援策として、就学援助の対象世帯に対して区独自の塾代助成を実施しております。

今後もこれらの取組を継続し、意欲ある生徒を含め、すべての子どもたちの学力向上を図ってまいります。

- ④ アクティの運営形態をまずは区内で統一した上で、育成室の保育環境に近づける努力をしてはいかがか、伺う。

- ⑤ 育成室待機児童対策の基本は施設の整備による定員増だが、アクティの質の向上も解決策の一つとして有効ではないか、認識を伺う。

(答弁)

これまで、全ての放課後全児童向け事業において、終了時間の延長や従事スタッ

フへの研修の実施等により、事業の充実に努めてまいりました。しかしながら、各校における学校活動等の違いにより、実施日等に差が生じており、課題として認識しております。

今後も、より多くの児童の安全・安心な居場所となるよう、調整を進めるとともに、研修等により本事業の質の向上に努めてまいります。

- ⑥ 喫緊の待機児童対策として、ランドセル来館も以前提案したがいかがか、今年度待機児童数が大幅に増加したが、その認識と合わせ、伺う。

(答弁)

放課後全児童向け事業を全区立小学校で実施しており、学校内に継続して安全な居場所を確保していることから、現時点で直ちに児童館に「ランドセル来館制度」を導入する考えはございませんが、育成室の待機児童の現状を鑑み、議員のご提案も含め、あらゆる可能性について検討してまいります。

## 7 保育園の環境向上について

- ③イ 幼稚園、区立小中学校・高齢者、障害者施設等も同様に、不適切な事案が発生した際の事前の対応方針はできているか伺う。

(答弁)

区立幼稚園、小・中学校では、都教育委員会から示されている「体罰根絶に向けた総合的な対策」や、国から示されている「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」を踏まえ、不適切事案に対応しております。

事案が発生した場合には、速やかに教育委員会へ報告することとしており、教育委員会、学校・園の管理職が連携し、迅速に対応を行ってまいります。

## 9 防災意識を高める、フェーズフリー教育

- ③ 食育として炊き出しをイメージした防災給食を行ってはいかがか、認識を伺う。

(答弁)

学校給食は決められた栄養価と食品構成を基に献立を作成する必要があり、現状では、炊き出しをイメージした献立の提供は難しいものと考えております。

- ④ 学校にフェーズフリーの考え方を取り入れ、全学年で防災につながる教育に取り組んではいかがか、伺う。

(答弁)

各学校では、具体的な場面を想定した避難訓練や防災宿泊体験などを行い、防災への意識を高め、災害に備える学習に取り組んでおります。

また、理科や保健体育などにおいては、防災の視点をもって学習に取り組む場面もあり、学習内容を通して、災害を自分事として捉え、災害への意識を高める効果へとつながっております。

引き続き、全学年において、児童・生徒の発達段階に応じ、様々な機会をとらえ、子どもたちの防災意識を高めてまいります。また、災害時に命を守り、困難を乗り越える力を身に付けられるよう、学習内容の充実にも努めてまいります。

## 11 昼食の提供について

- ① 区立学校に通っている子どもたちの昼食は、区が責任を持って手配すべきと考えるがいかがか、伺う。

(答弁)

これまで、給食室の改修工事にあわせ、弁当の提供についても、検討を重ねてまいりました。他自治体で弁当提供の実績がある事業者と調達の可能性について協議しているところであり、栄養士も関わりながら、衛生管理や運搬方法を含め、児童全員に弁当を配付できるよう検討しているところです。

- ② 一部の民間学童等でお弁当の手配が行われているが、区の育成室でも行えるようにしてはいかがか、伺う。

- ③ 給食の代替・育成室のお弁当、いずれも実現できそうな企業が複数見つかった。この夏の育成室のお弁当手配も、2学期の給食支援も、今からでも間に合いそうだがいかがか、平日の子どもたちのお昼ご飯は安全で良質なものとなるよう区が力を尽くしていただきたいと願い、伺う。

(答弁)

長期休業中の食事の提供は、父母会が実施し、児童への配膳等は育成室職員が協力することにより行っております。

食事の提供は、子育て家庭の負担軽減等につながるものと認識しておりますが、衛生面やアレルギー対応など、安全・安心への十分な配慮が求められることから、他自治体の取り組みを参考に、研究してまいります。

## 13 千石図書館のブックポスト設置希望について

- ① 近隣環境に配慮しつつ、ブックポストの設置を検討してはいかがか、伺う。

(答弁)

千石図書館については、閑静な住宅街に立地し、周辺環境への十分な配慮が求められたことから、近隣住民の方々と協議し、現在の運営形態をとることとなったため、新たにブックポストを設置する考えはございません。

## 令和5年6月定例議会一般質問 教育長答弁

令和5年6月15日

自民党 田中 としかね議員

### 1 フランスとの文化交流について

- ⑤ 東京都教育庁は、フランスとの間で、言語や芸術・文化、職業教育の推進などを主なテーマに、学校間や児童・生徒、教職員の交流などに取り組むとしている。フランス大使館を通して、文京区の児童・生徒、教職員が交流に関わると、東京都にアピールするべきと考える。考えを伺う。

(答弁)

国際化が一層進展している社会においては、国際関係や異文化を理解し、異なる文化をもつ人々と共生することのできる態度・能力を身に付けることが望まれます。このため、国際交流が果たす役割は大変重要と認識しております。

都教育委員会がイル＝ドゥ＝フランス地域大学区と教育に関する覚書を締結し、都立高校との間で交流に向け取り組んでいることは承知しております。まずは、文京区立学校の児童・生徒・教員と同地域との交流が実現可能かを都教育委員会に確認し、今後の対応について検討してまいります。

### 2 児童・生徒のタブレット端末の活用について

- ①ア 「文の京」総合戦略の改定にあたって、パブリックコメントへの参画を、児童・生徒に促すことをタブレットを使って実施してほしいと考えるが、考えを伺う。また、子育て支援に関する実態調査を実施するに当たっても、タブレットを利用したアンケート調査として実施してほしいと考えるが、考えを伺う。

(答弁)

タブレット端末は、個別最適な学びや協働的な学びを実現し、児童・生徒の可能性を引き出すなど、教育の質を高めることを目的として、貸与しているものです。

ご提案のタブレット端末の活用方法については、学習とは別の用途での使用となるため、家庭での利用状況を踏まえ、保護者の十分な理解が大切となり、丁寧な検討が必要と考えております。

### 3 学校における「自然体験活動」について

- ① 区の「自然体験活動」についての考えを伺う。

(答弁)

自然体験活動の機会として、「自然体験教室」、「八ヶ岳高原学園移動教室」、「魚沼移動教室」を実施し、自然に対する興味・関心を高めるため、自然散策や野外体験、収穫体験等を行ってまいりました。

今年度は中学校1年生の八ヶ岳高原学園移動教室において、景観の変化に富んだコースや、達成感に重点を置いたコース等、新たな登山コースを開拓し、各校で様々なプログラムが組めるようにしております。

ご指摘のとおり、日常の教育では経験できない様々な困難な体験を通して、「生きる力」を身につけることも、自然体験活動の大切な要素の一つと考えております。そのことも踏まえ、充実した自然体験活動となるよう、その内容について学校と協議し、検討してまいります。

#### 4 育成室における食事の提供支援について

- ① 区としても、長期休暇期間中の育成室における食事の提供支援について、国の動向をふまえて検討を進めるべきと思うが、考えを伺う。

(答弁)

長期休業中の食事の提供は、父母会が実施し、児童への配膳等は育成室職員が協力することにより行っております。

食事の提供は、子育て家庭の負担軽減等につながるものと認識しておりますが、衛生面やアレルギー対応など、安全・安心への十分な配慮が求められることから、国の動向や他自治体の取り組みを参考に、研究してまいります。